

通訳案内士、合格者が最多

訪日外国人旅行者に有料で通訳ガイドができる国家資格「通訳案内士」の2015年度の試験合



15年度、3年連続増加

格者数が2119人と、過去最高を記録した。3年連続の増加で、これまで最高だった07年度（1905人）を8年ぶりに上回った。ただ、10言語のうち英語の合格者が8割強を占め、訪日客の需要が急増する中国語は4%にとどまった。通訳案内士の国家試験は年に1回実施している

訪日客増加で通訳案内士の需要が増えている

訪日外国人急増で注目

る。日本政府観光局（JNTO）によると、15年度の受験者数は1万975人で合格率は19%だった。合格者数は前年度に比べ28%増え、12年度と比べると3倍になった。

受験言語別の合格者内訳は英語が1822人でトップ。2位は中国だが86人と規模は一気に少なくなる。通訳案内士の登録者数でも同じ傾向だ。15年4月時点で全体が1万9033人、そのうち英語が7割強を占めるが、続く中国語は1割強にとどまる。